

令和6年度(2024年度)
くまもと「親の学び」
プログラム 次世代編
実践事例集



熊本県教育委員会

【 目 次 】

はじめに	1
----------------	---

「親の学び」次世代編実践協力校実施一覧	2
-------------------------------	---

| | |-------| | 各校の実践 | |-------|

美里町立砥用中学校	3
---------------------	---

和水町立菊水中学校	4
---------------------	---

菊池市立旭志中学校	5
---------------------	---

菊池市立泗水中学校	6
---------------------	---

合志市立合志楓の森中学校	7
------------------------	---

合志市立西合志中学校	8
----------------------	---

大津町立大津中学校	9
---------------------	---

菊陽町立武蔵ヶ丘中学校	10
-----------------------	----

阿蘇市立阿蘇中学校	11
---------------------	----

益城町立益城中学校	12
---------------------	----

八代市立千丁中学校	13
---------------------	----

芦北町立田浦中学校	14
---------------------	----

山江村立山江中学校	15
---------------------	----

天草市立牛深中学校	16
---------------------	----

山鹿市立米野岳中学校	17
----------------------	----

紹介	和水町立三加和中学校	18
----	----------------------	----

はじめに

熊本県教育委員会では、「くまもと家庭教育支援条例第１３条」に基づき、中学生、高校生の「じりつ」（自律・自立）を促し、将来大人になることについて学ぶ「くまもと『親の学び』次世代編プログラム」（以下、次世代編プログラムという。）の推進に取り組んでいます。

令和６年度（２０２４年度）は、県内の中学校１５校を実践協力校に指定させていただき、次世代編プログラムの効果的な活用について、実践を重ねてきました。

この１５校の実践を取りまとめましたので、各学校におかれましては、次世代編プログラムの今後の積極的な活用にご役立ていただきますよう、お願いします。

★くまもと「親の学び」プログラムについて★

くまもと「親の学び」プログラムとは、保護者や生徒を対象にした参加体験型コミュニケーション講座を進行するためのプログラムです。

生徒向け「親の学び」プログラム（次世代編）は、まもなく大人になる高校生や中学生が、「大人になったとき」「親になったとき」に必要な『自立』と『コミュニケーション』をメインテーマにしたプログラムになっています。

また、保護者向け「親の学び」プログラムは、子供の発達段階に応じた「乳幼児期編」「小学生期編」「中高生期編」があり、テーマをもとに考えを出し合うことを通して、保護者が子育てについて前向きな気持ちを持ち、子育てのヒントを得ることができるプログラムになっています。

令和 6 年度（2024 年度）
「親の学び」次世代編実践協力校 実施一覧

地区	実践協力校	実施日	講座実施者
宇城	美里町立砥用中学校	7月12日(金)	・県社会教育課 平川 崇 社会教育主事
玉名	和水町立菊水中学校	9月3日(火)	・玉名教育事務所 大丸 廣幸 社会教育主事
菊池	菊池市立旭志中学校	1月31日(金)	・菊池教育事務所 松永 武 社会教育主事
	菊池市立泗水中学校	10月1日(火)	・菊池教育事務所 松永 武 社会教育主事
	合志市立合志楓の森中学校	9月20日(金)	・菊池教育事務所 松永 武 社会教育主事
	合志市立西合志中学校	11月22日(金)	・菊池教育事務所 松永 武 社会教育主事
	大津町立大津中学校	12月5日(木)	・菊池教育事務所 松永 武 社会教育主事
	菊陽町立武蔵ヶ丘中学校	2月4日(火)	・菊池教育事務所 松永 武 社会教育主事
阿蘇	阿蘇市立阿蘇中学校	6月7日(金)	・阿蘇教育事務所 内野 龍一 社会教育主事
上益城	益城町立益城中学校	10月17日(木)	・上益城教育事務所 金子 正誓 社会教育主事
八代	八代市立千丁中学校	7月5日(金)	・八代教育事務所 俣嶋 孝宏 社会教育主事
芦北	芦北町立田浦中学校	7月14日(金)	・芦北教育事務所 坂口 祥一郎 社会教育主事
球磨	山江村立山江中学校	7月12日(金)	・球磨教育事務所 尾方 英介 社会教育主事
天草	天草市立牛深中学校	7月18日(木)	・天草教育事務所 緒方 大将 社会教育主事
山鹿	山鹿市立米野岳中学校	10月22日(火)	・県社会教育課 平川 崇 社会教育主事

「親の学び」次世代編実践協力校 実践事例紹介

～美里町立砥用中学校での実践～



【宇城教育事務所】

【講座のテーマ】

互いの気持ちを考えた言動～コミュニケーション能力の育成～

【講座の日程等】

実施日：令和6年（2024年）7月12日（金）
場 所：美里町立砥用中学校
日 程：5校時（14：20～15：10 授業参観）
対 象：砥用中学校 第1学年 15名、保護者
進行役：県社会教育課 社会教育主事 平川 崇

【講座の説明】

本講座を学級活動の時間に位置付け、生徒たちが互いの気持ちを考えた言動ができるようコミュニケーション能力を高めるためのプログラムを実施した。

また、授業参観時の講座のため、参観される保護者にも子育てについての気づきがあるプログラムを選択した。

【プログラムの実際】

- 1 「親の学び」次世代編について
 - ・本日のねらいの確認
- 2 アイスブレイク
- 3 「つなぐ」プログラム
 - ・サイコロトーク
- 4 「考えに気付く、考えを深める」プログラム
 - ・ベストリスナー～聞き上手で広がる我・輪・和～
※ロールプレイを行い、感じたことを伝え合う活動
- 5 まとめ

【生徒の感想】

- ・人の話を聞くと時には、まずは相手の気持ちを想像すると良いと思いました。相手がどんな思いで話しているのか、どのように返せばよいのかをしっかりと考えて話を聞きたいと思いました。もっと聞き上手になりたいと思いました。
- ・親役と子供役をやって、どちらの気持ちもわかるので複雑な気持ちになりました。一番嫌だったのは話をさえぎられることだったので、友達や家族と話をしているときに気を付けようと思いました。ロールプレイをしてみないとできない考えもあったからできて良かった。

【保護者の感想】

- ・子供の話を聞くと時に自分がどんな態度をとっていたらと見直す機会になり、よいプログラムを体験できました。お互いが、親子でも気持ちの良い会話ができると思います。

【先生の感想】

- ・子供は自分の気持ちを伝えたいのに親が向き合っていないと気持ちのすれ違いが起こることが理解できる内容だった。生徒たちが意欲的に取り組み、参観していただいた保護者にも参考になる内容だった。

活動 2

ベストリスナー
～聞き上手で広がる我・輪・和～

ねらい

コミュニケーションの取り方について考え、相手と会話をするとき役立てていこうとする気持ちを高める。



アイスブレイクの様子



「つなぐ」プログラムの様子



担任の先生もグループに参加

「親の学び」次世代編実践協力校 実践事例紹介

～和水町立菊水中学校での実践～



【玉名教育事務所】

【講座のテーマ】

夢の実現のために、今の自分に大切なことを考えよう。



「親の学び」講座の目的を把握する



仕事をするうえで大切な力を考える



お互いの考えをグループで検討する



自分の努力目標を発表し合う

【講座の日程等】

期 日：令和6年（2024年）9月3日（火）
場 所：和水町立菊水中学校
日 程：5校時（15：05～15：55）
対 象：第3学年 29名
進行役：玉名教育事務所 社会教育主事 大丸 廣幸

【講座の説明】

将来の夢や目標に向け進路決定や、自分の能力を伸ばしていく時期にある3年生に、キャリア教育の観点で「親の学び」講座を実施した。ねらいは、いろいろな人たちと仕事をするうえで自分に大切な能力について皆で考えることとした。

生徒それぞれが必要と思う力について交流することで、友達の多様な考えにふれたり、今の自分を振り返ったりしていた。また、夢の実現のために今の自分にできることについてシートに書いた。今後は教室に掲示される。

【プログラムの実際】

- 1 「親の学び」プログラム講座次世代編について（ねらい）
- 2 アイスブレイク
 - ① 餃子じゃんけん（3人組でのアイスブレイク）
 - ② アドジャントーク（身近なことに関するグループトーク）
- 3 メインプログラム①
 - ①ピラミッドランキングの作成
いろいろな人たちと職場で仕事をするうえでの必要な能力を個人で考えた後、グループで検討し学級全体で共有する。
 - ②努力目標についてシートに記入
夢の実現のためにこれからの自分のできること、やりたいことをシートに記入し、発表する。
- 4 まとめ
 - ① 大谷選手の名言等を参考にしながら、自分の力を高めることについて意欲を持つ。

【生徒の感想】

- 授業を体験して社会に出て大人になった時には、主体性と協調性が重要であり、日々のコミュニケーションを大切にしていきたいと思った。
- 将来のことははっきり決まっていらないが、今の自分にできることを少しずつ積み重ねていきたいと思った。
- 講座を通して他の人の意見（自分とは少し違った意見）を聞いて良かった。自分の考える範囲が広がって良かった。
- 夢はあるけれど、その実現に向けた行動や方法についてあまり考えたことがなかったので良かった。

【学校職員の感想】

- 「今の自分にできること」をこの時期に考えることができたことで、今後の学校生活に生かすことができると思う。

「親の学び」次世代編実践協力校 実践事例紹介

～菊池市立旭志中学校での実践～



【菊池教育事務所】

【講座のテーマ】

夢の実現に向けて行動目標を立てよう！

【講座の日程等】

期 日：令和7年（2025年）1月31日（金）
場 所：菊池市立旭志中学校
日 程：3校時（10：30～11：20）
対 象：第2学年 37名
進行役：菊池教育事務所 社会教育主事 松永 武

【講座の説明】

講座の目標は、「大人になった時に『必要となる力』について考え、自分の夢を実現するための行動目標を立てよう！」です。大人になった時に、どのような力が必要なのか、班のメンバーと協議をしていく中で、今の自分を見つめなおし、身に付けておくべき資質・能力を考えてもらう内容となっています。最後は、自分の夢（目標）に向けて、取り組む行動目標を立てるところまでが本講座の流れです。

【プログラムの実際】

- 1 講座について
 - ・「親の学び」次世代編とは
 - ・今日の講座の目標の確認

「近い将来、大人になった時に『必要となる力』について考え、自分の夢を実現するための行動目標を立てよう！」
- 2 さいころトーク
 - ・自分の将来のことを想起するお題で語り合う
- 3 ダイヤモンドランキング
 - ・将来仕事をしていくために必要だと考える力を各自でランキングする
 - ・班で意見交換をして、班の1位を決定する
 - ・学級全体に班の1位を発表する
 - ・夢の実現に向けてやっていくべき行動目標を決定する
- 4 まとめ
 - ・今日の学びについてまとめ、振り返る

【先生方の感想】

- ・最初から先生のお話とサイコロトークで子どもたちの表情が和らぎ、とても良い雰囲気の中で授業が進んでいたと思いました。最初のアイスブレイクやファシリテーターの声掛け等の大切さを改めて感じました。本題の話し合いの中でもとても説明がわかりやすく、子どもたちも安心して取り組んでいたと思います。
- ・グループでの話し合いでは、相手を否定しないというルールのもと、安心して自分の意見を述べられること、違う意見を持っている友達と建設的に意見をまとめていくという過程を経験することができたことはとても良かったと思いました。この経験が今後も生徒の中に残っていったくれるといいなと思いました。とても楽しく、温かい気持ちになる授業をありがとうございました。

【生徒の感想】

- ・受講する前は緊張する感じなのかと思っていたけど、受講してみるととても楽しかったです。将来のために今から少しずつ力を付けていこうと思いました。
- ・将来の夢を叶えるために、どんな力が大切なのかを考えることができました。友だちと意見交換をしたことで、新しい気づきもありました。
- ・将来のことを真剣に考えたことがなかったので、自分がどういう大人になりたいか考えることができてよかったです。
- ・友だちと考えを交流していくなかで、自分の夢に自信がついたし、考えも深まりました。とてもいい時間でした。
- ・わたしは将来の夢が決まっているので、その夢に向かってできることをやっていこうと思いました。コミュニケーションとチャレンジを意識して生活しようと思います。
- ・「親の学び」次世代編を受講して、自分の将来が見えてきた感じがしました。
- ・最初はあまり乗り気がしなかったのですが、受講してみるととても勉強になりました。
- ・グループで話げできたことで、自分の考えが深まったように思いました。



「親の学び」次世代編実践協力校 実践事例紹介

～菊池市立泗水中学校での実践～



【菊池教育事務所】

【講座のテーマ】

夢の実現に向けて行動目標を立てよう！

【講座の日程等】

実施日：令和6年（2024年）10月1日（火）
場 所：菊池市立泗水中学校
日 程：1校時～4校時（8：40～12：30）
対 象：第1学年 4学級 126名
進行役：菊池教育事務所 社会教育主事 松永 武

【講座の説明】

講座の目標は、「大人になった時に『必要となる力』について考え、自分の夢を実現するための行動目標を立てよう！」です。大人になった時に、どのような力が必要なのか、班のメンバーと協議をしていく中で、今の自分を見つめなおし、身に付けておくべき資質・能力を考えてもらう内容となっています。最後は、自分の夢（目標）に向けて、取り組む行動目標を立てるところまでが本講座の流れです。

【プログラムの実際】

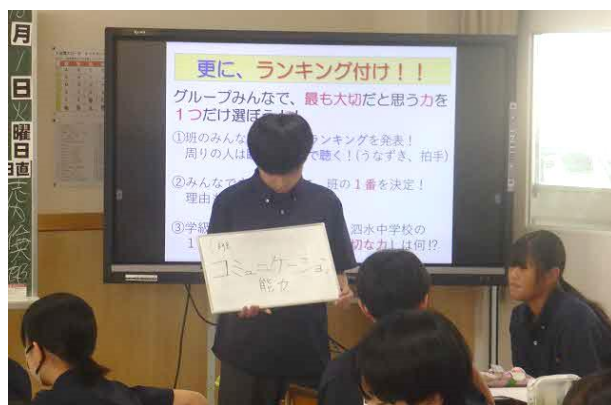
- 1 講座について
 - ・「親の学び」次世代編とは
 - ・今日の講座の目標の確認
「近い将来、大人になった時に『必要となる力』について考え、自分の夢を実現するための行動目標を立てよう！」
- 2 さいころトーク
 - ・自分の将来のことを想起するお題で語り合う
- 3 ダイヤモンドランキング
 - ・将来仕事をしていくために必要だと考える力を各自でランキングする
 - ・班で意見交換をして、班の1位を決定する
 - ・学級全体に班の1位を発表する
 - ・夢の実現に向けてやっていくべき行動目標を決定する
- 4 まとめ
 - ・今日の学びについてまとめ、振り返る

【先生方の感想】

- ・これからの行動目標について考えられたことは、今後に生かせるものでした。コミュニケーションについては、1年生全体の課題でもあるので、意識を高めるよい機会となりました。
- ・働くうえで必要な資質や行動目標を考えることは、非常に有意義だと思いました。
- ・大人になるまでに身に付けてほしいことを、子どもたちが自分で考えることができたと思います。
- ・子どもたちが、これからどんな力を身に付けていく必要があるのかを考えるいい機会になりました。
- ・子どもたちが自分の将来を想像しながら学習していく姿が印象的でした。活発な話し合いができていて、とても充実した時間でした。

【生徒の感想】

- ・自分には無理だと思って断ってきたことも、これからはチャレンジしていこうと思いました。
- ・相手の意見を聞くだけではなく、自分の意見も積極的に発表していこうと思いました。
- ・仕事をするうえで必要となる力は、いろいろあると分かって、大人の人の「大変だな」「すごいな」と思いました。
- ・自分の将来のことを考えたり、これからの自分の目標をしっかりと考えることができてよかったです。
- ・将来、自分がどんな風になりたいか、そうなるためにはこれからどうすればよいか、よく考えて生活していこうと思いました。
- ・「親の学び」プログラム次世代編って何をするんだろうと思っていたけれど、自分の考えをいっぱい言うことができて、友だちの考えもしっかり聞けたのでうれしかったし、楽しかったです。
- ・「親の学び」プログラム次世代編をやる前は、将来が少し不安だったけど、友だちと話し合ったり、講師の先生の話の聞いたりできて、不安よりも楽しみの方が大きくなりました。



「親の学び」次世代編実践協力校 実践事例紹介

～合志市立合志楓の森中学校での実践～



【菊池教育事務所】

【講座のテーマ】

夢の実現に向けて行動目標を立てよう！

【講座の日程等】

実施日：令和6年（2024年）9月20日（金）
場 所：合志市立合志楓の森中学校
日 程：2校時～4校時（9：25～12：00）
対 象：第2学年 3学級 118名
進行役：菊池教育事務所 社会教育主事 松永 武

【講座の説明】

講座の目標は、「大人になった時に『必要となる力』について考え、自分の夢を実現するための行動目標を立てよう！」です。大人になった時に、どのような力が必要なのか、班のメンバーと協議をしていく中で、今の自分を見つめなおし、身に付けておくべき資質・能力を考えてもらう内容となっています。最後は、自分の夢（目標）に向けて、取り組む行動目標を立てるところまでが本講座の流れです。

【プログラムの実際】

- 1 講座について
 - ・「親の学び」次世代編とは
 - ・今日の講座の目標の確認
「近い将来、大人になった時に『必要となる力』について考え、自分の夢を実現するための行動目標を立てよう！」
- 2 さいころトーク
 - ・自分の将来のことを想起するお題で語り合う
- 3 ダイヤモンドランキング
 - ・将来仕事をしていくために必要だと考える力を各自でランキングする
 - ・班で意見交換をして、班の1位を決定する
 - ・学級全体に班の1位を発表する
 - ・夢の実現に向けてやっていくべき行動目標を決定する
- 4 まとめ
 - ・今日の学びについてまとめ、振り返る

【先生方の感想】

- ・自分の将来の夢や大切に考えているスキルについて伝え合うことができ、進路学習のスタートとして有意義でした。
- ・対話のうまさや臨機応変に質問を続ける対応力など様々な点で学ばせていただきました。生徒たちは終始楽しそうに授業に参加しており、自分も普段の授業において生徒の興味や関心を引き出せるよう励みたいと思います。
- ・生徒が前のめりになって授業を受ける様子を見ることができて良かったです。生徒とのかけ合いや机間指導の仕方などを学ぶことができ、今後の授業づくりに生かしていきたいと思います。
- ・とても明るい雰囲気で、生徒たちも笑顔で授業に参加していました。今回考えた宣言文をこれからの生活につなげていけるよう声かけをしていきたいと思います。

【生徒の感想】

- ・まだ将来の夢がなかったので最初は不安だったけれど、「主体性」や「柔軟性」は、今からでも身に付けることができるので、意識していこうと思った。
- ・将来、自分に必要な力や全く知らなかった友だちの将来の夢を知れてよかったです。
- ・友だちの考えが自分と違うことも発見でした。自分の意見を言った時、「なるほど」とか言ってくれたので話しやすかったです。
- ・班の人だけでなく、クラスみんなの意見を聞くことで将来の夢に対する視野が広がった。これから自分の意見だけでなく、周りの意見も大切にしていきたいと思った。
- ・大人になった時に必要な力をたくさん学べました。今からでも自分にできることをたくさんしていきたいです。
- ・将来の夢だけでなく、生活に役立つようなことも学べてよかったです。
- ・人によって大切に思うものが違うんだなぁと知ることができました。自分のことを進んで話すのは苦手だったけど、今日は少し話せたと思います。
- ・自分の夢を実現するためにはどうすればいいかを確認できて良かったです。



「親の学び」次世代編実践協力校 実践事例紹介

～合志市立西合志中学校での実践～



【菊池教育事務所】

【講座のテーマ】

西中未来予想図！

～ 未来を切り拓くうえで大切な力を考えてみよう！ ～

【講座の日程等】

実施日：令和6年（2024年）11月22日（金）

場 所：合志市立西合志中学校 体育館

日 程：1校時（8：30～9：20 授業参観）

対 象：第1学年 119名、2学年 121名、保護者

進行役：菊池教育事務所 社会教育主事 松永 武

【講座の説明】

講座の目標は、「西中未来予想図！～未来を切り拓くうえで大切な力を考えてみよう！～」です。未来を切り拓くうえで、どのような力が必要なのか、班のメンバーと協議をしていく中で、今の自分を見つめなおし、身に付けておくべき資質・能力を考えてもらう内容となっています。



【生徒の感想】

- ・自分の親と色々なことを考えることはあまりなかったので、この時間をつくってもらって良かったです。
- ・私の意見とは全く違う意見を知れたし、「確かに」と思う意見もあったので楽しかったです。
- ・親と最近、なかなか話せてなかったので「親の学び」プログラムで話せて良かったです。
- ・「未来を切り拓くうえで大切な力」なんて今まで考えたことなかったから面白かったです。他のグループが選んだ力も知れて良かったです。
- ・正直、そこまで楽しみにしていたわけではなかったけど、いざやってみると盛り上がりました。記憶に残りました。
- ・最初は難しい話なのかなって思ったけど、実際にやってみて「楽しく学ぶ」ことができました。
- ・自分のことを見直すきっかけにもなったし、みんなのことも知れて良かったです。家族との時間も大切にしようと思いました。
- ・最近、親に対して反抗的な態度をとっていたので、少しずつちゃんと話せるようになりたいと思いました。
- ・実際に親と過ごす時間は少ないと知って驚きました。1分1秒をもっと大切にしようと思いました。
- ・これまであまり話をしたことがない人と話できて、つながりができました。

【プログラムの実際】

- 1 講座について
 - ・「親の学び」次世代編とは
 - ・今日の講座の目標の確認
「西中未来予想図！～未来を切り拓くうえで大切な力を考えてみよう！～」
- 2 さいころトーク
 - ・自分の将来のことを想起するお題で語り合う
- 3 西中未来予想図
 - ・将来仕事をしていくために必要だと考える力を各自でランキングする
 - ・班で意見交換をして、班の1位を決定する
 - ・全体に班の1位を発表する
- 4 まとめ
 - ・今日の学びについてまとめ、振り返る

「親の学び」次世代編実践協力校 実践事例紹介

～大津町立大津中学校での実践～



【菊池教育事務所】

【講座のテーマ】

大中未来予想図！ ～自立への一步～

多様な意見や考えに触れる中で、自分を見つめ、「自立」への一步を踏み出そう！

【講座の日程等】

実施日：令和6年（2024年）12月5日（木）
場 所：大津町立大津中学校 体育館
日 程：5校時（14：05～14：55 授業参観）
対 象：第1学年 140名、保護者
進行役：菊池教育事務所 社会教育主事 松永 武

【講座の説明】

講座の目標は、「大中未来予想図！ ～自立への一步～ 多様な意見や考えに触れる中で、自分を見つめ、「自立」への一步を踏み出そう！」です。自立へ向けて、班のメンバーと協議をしていく中で、今の自分を見つめなおし、身に付けておくべき資質・能力を考えてもらう内容となっています。



【プログラムの実際】

- 1 講座について
 - ・「親の学び」次世代編とは
 - ・今日の講座の目標の確認
「大中未来予想図！ ～自立への一步～ 多様な意見や考えに触れる中で、自分を見つめ、「自立」への一步を踏み出そう！」
- 2 さいころトーク
 - ・自分の将来のことを想起するお題で語り合う
- 3 大中未来予想図
 - ・「身辺的自立度」を確認する
 - ・「社会的自立度」を確認する
 - ・班で結果を共有し、「自立度」を向上させるためのアイデアを出し合う。
 - ・保護者の思いを聴く
- 4 まとめ
 - ・今日の学びについてまとめ、振り返る

【先生方の感想】

- ・生徒が保護者の話や仕事のことを聞く機会などなかなかないので良かったです。温かい雰囲気をつくっていただいたので、安心して語ることができました。「社会的自立」「身辺的自立」を意識して今後も支援していきます。
- ・日常の何となく思っていることや行動を改めて振り返ってみることで、自分の将来像や行動目標を立てることができて、とてもよかったと思います。親子でじっくり話す機会がないご家庭には、特に良い機会になったと思います。
- ・発表した生徒たちへのコメントに温かさを感じました。終末に曲をもってこられたところも良い手立てで参考になりました。
- ・導入の話をしやすいようにする雰囲気づくりもあって、子どもたちは活発に話をしていました。保護者を巻き込んだ形の授業参観の必要性・有用性を感じました。

【生徒の感想】

- ・実際に保護者の方や先生に、仕事をしている中でのやりがいや楽しみなどを聞けたので、将来について考えることができました。
- ・楽しく会話をしながら自分の生活を振り返ってみたり、他の人の考えを共有したりできたので良かったです。今日みたいに大人と話したことはなかったので、良い経験になりました。とても楽しかったです。
- ・大人と子どもの考え方の差を感じなかったし、大人だから完璧ということでもないんだなというのが一番の発見でした。
- ・自分の親が中学生だったときの話など聞かせてもらって良かったし、これからやるべきことがはっきり見えてきました。
- ・普段話さない人と、これまで話したことがない内容について意見交換ができて良かったです。どうすれば、自立に向け一歩踏み出すことができるのか、みんなと楽しく考えることができました。
- ・自立度チェックは、自分がどれだけ自立できているか確認することができたとし、友だちのことも知れて参考になりました。班での交流や全体での共有がたくさんあり楽しかったです。
- ・同級生だけでなく親の意見や考えが聞けたのが良かったです。異なる価値観や考え方があると多くの学びが生まれることがわかりました。
- ・私は親にばかり頼っていることがわかりました。自立度チェックで良くなかった項目は少しずつ改善して、自立への一步につながるようにしたいです。

「親の学び」次世代編実践協力校 実践事例紹介

～菊陽町立武蔵ヶ丘中学校での実践～



【菊池教育事務所】

【講座のテーマ】

夢の実現に向けて行動目標を立てよう！

【講座の日程等】

期 日：令和7年（2025年）2月4日（火）
場 所：菊陽町立武蔵ヶ丘中学校
日 程：3校時～4校時（10：40～11：30）
対 象：第2学年 2学級 245名
進行役：菊池教育事務所 社会教育主事 松永 武

【講座の説明】

講座の目標は、「大人になった時に『必要となる力』について考え、自分の夢を実現するための行動目標を立てよう！」です。大人になった時に、どのような力が必要なのか、班のメンバーと協議をしていく中で、今の自分を見つめなおし、身に付けておくべき資質・能力を考えてもらう内容となっています。最後は、自分の夢（目標）に向けて、取り組む行動目標を立てるところまでが本講座の流れです。

【プログラムの実際】

- 1 講座について
 - ・「親の学び」次世代編とは
 - ・今日の講座の目標の確認
「近い将来、大人になった時に『必要となる力』について考え、自分の夢を実現するための行動目標を立てよう！」
- 2 さいころトーク
 - ・自分の将来のことを想起するお題で語り合う
- 3 ダイヤモンドランキング
 - ・将来仕事をしていくために必要だと考える力を各自でランキングする
 - ・班で意見交換をして、班の1位を決定する
 - ・学級全体に班の1位を発表する
 - ・夢の実現に向けてやっていくべき行動目標を決定する
- 4 まとめ
 - ・今日の学びについてまとめ、振り返る

【生徒の感想】

- ・普段あまり話さない人に自分の考えを伝えたり、相手の考えを聴いたりできて楽しかったです。この時間でたくさん将来のことについて考えられたので、すごく良かったです。
- ・「親の学び」次世代編を受講する前は、将来のことについて考える時間や自分の将来のことを友だちに話す時間があまりなかったもので、今日はたくさん伝え合いができて良かったです。
- ・大人になったときに必要となる力が、人それぞれ様々あってびっくりしました。自分に足りないところや、まだまだ伸ばせるところがあったから、少しずつでも伸ばしていきたい。サイコロトーク、楽しかったです。
- ・将来の職業についてあまり考えていなかったもので、今回の「親の学び」で何かやってみようと思いました。当たり前のことをしていくことも大切だと思いました。
- ・友だちと話してみると、将来やりたいことが同じような人もいてびっくりしました。たくさんの人たちの新しい面を見つけることができました。



【先生方の感想】

- ・子どもたちが積極的に参加する姿が見られました。アイスブレイクやダイヤモンドランキングを活用することで話し合いが活発になっていたので、今回考えたことが学校生活につながるような手立てを行う必要があると思いました。
- ・楽しみながら自分の考えを話したり、友だちの考えを聞いたりすることができて良かったと思いました。将来に向けて「どのような力が必要か」については、3年生で進路選択をしなければならない2年生の子どもたちにとっては、タイムリーでありがたかったです。
- ・普段関わりの少ない生徒同士で話し合っていて、「親の学び」プログラムをもっと活用したいと思いました。質問のパターンを変えれば、様々な場面で使えると思ったので、自分で作ってみようと思います。

「親の学び」次世代編実践協力校 実践事例紹介

～阿蘇市立阿蘇中学校での実践～



【阿蘇教育事務所】

【講座のテーマ】 ベストリスナーになろう

【講座の日程等】

実施日：令和6年（2024年）6月7日（金）
場 所：阿蘇市立阿蘇中学校 体育館
日 程：6校時（15：00～15：50）
対 象：第3学年 3学級 109名
進行役：阿蘇教育事務所 社会教育主事 内野 龍一

【講座の説明】

「ベストリスナー（聞き上手）になろう」をテーマに、ベストリスナーになるためのポイントについて考え、話し手を尊重した聞き方を身につけ、豊かな人間関係を築こうとする心情を育てる。

【プログラムの実際】

- 1 アイスブレイク
- 2 ロールプレイ
 - ① 3つの場面でロールプレイ（3人グループ）
 - ② 各グループで感じたことを共有する。
 - ③ 全体で共有する。
- 3 メイン活動
「ベストリスナー」になるためのポイントについて考えよう。
 - ① グループでポイントを出し合いながら、クラゲチャート（思考ツール）にまとめる。
 - ② 全体で共有する。
- 4 まとめ
聞き手の態度や姿勢、返答の仕方、話し手の心情が変わるので、相手を見たり、相槌をうったりすることでよりよい人間関係を築けるようになる。

【生徒の感想（抜粋）】

- ・自分が親の立場になったら、子供の気持ちをしっかり考えながら聞き、応えようかなと思った。
- ・自分の話の聞き方があまり良くないかもしれないと気付くことができたので、これからは話を遮らないことや、自分と比べながら聞くことを大切にしたい。
- ・ベストリスナーになるために、相手の方を見ることや相づちをすることを意識しようと思った。
- ・相手の話を最後まで遮らず、相手を見て耳で聞いていきたい。そしてしっかりと自分の思いも伝え、人とのつながりを広げていきたい。
- ・人の話を聞くという身近で些細なことでも、自分の聞き方次第で相手の受け取り方は大きく変わってしまうということを学んだ。これからの生活に活かしていきたい。
- ・国語の時間などで行う班活動で使えることがたくさんあったので勉強になった。
- ・私はコミュニケーションをとるのが苦手だけど、今日の学習をとおして、コミュニケーションをとる時のポイントなどを知ることができたのでよかった。



3人でロールプレイ



クラゲチャートを使って



「ベストリスナーになるためのポイントは・・・」



みんなで共有

「親の学び」次世代編実践協力校 実践事例紹介

～益城町立益城中学校での実践～



【上益城教育事務所】

【講座のテーマ】

将来の夢に向けて、今の自分に必要な力を考える。

【講座の日程等】

実施日：令和6年（2024年）10月17日（木）

場 所：益城町立益城中学校

日 程：5校時（14：10～15：00）

対 象：第1学年 37名

進行役：上益城教育事務所 社会教育主事 金子 正誓

【講座の説明】

自分の将来について考えるために、「私の未来へ～自立に向けての第一歩～」と題したプログラム。職業自立、身辺的自立、社会的自立の3つの視点から自分自身を見直すことをとおして、将来（自立）に向けて、今からやるべきことを考える機会とする。

【プログラムの実際】

- 1 「親の学び」次世代編の説明
- 2 アイスブレイク
(多様な見方を尊重する心に触れるトリックアート)
 - ・物事を多面的に見ることの大切さを考えるため、トリックアートをもとにして意見を交流する。
- 3 メイン活動1
(大人になった自分をイメージするサイコロトーク)
 - ・生徒の日常生活をもとにした話題を設定し、気軽に話すことができる活動にする。
- 4 メイン活動2
(自立について自分自身を見つめるワーク)
 - ・アンケート結果を参照したり、チェックシートを活用したりして、自分自身を見つめる機会とする。
- 5 グループ活動
(将来のため、今やるべきことについて意見交流)
 - ・社会的自立のうち、今の自分にとって大切だと思うことについて紹介し合う。
- 6 まとめ
 - ・夢に向かい活躍しているアスリートを紹介し、今日の学びを日々の生活に生かしてほしいと伝える。

【生徒の感想】

- 働きだすと、たくさんの人にお世話になるから、日頃から感謝の気持ちを伝える。
- 優先順位を自分で判断できるように、普段から計画的に行動したい。
- 良い印象をもってもらうために、普段からさわやかな挨拶をする。
- どんな小さなことでもいいから、友だちの悩みごとの相談にのる。
- 流されず自分で判断し、行動できるように毎日発表して自分の意見に自信を持つ。

【教師の感想】

- 意欲的に取り組んでいた。日記には、「自立について考えたことがなかったので勉強になった」という感想が多かった。普段の授業では、深く考えることが少ない内容であったので、よい学習の機会となった。
- 「親の学び」プログラムは、他の教育活動と関連付けて実施することで、生徒の行動変容につながると感じた。例えば、合唱コンクールに向けた取組の中で社会的自立につながる側面を明らかにすることで、自立に向けての「第二步、第三步」へと進められると感じた。

「親の学び」次世代編実践協力校 実践事例紹介

～八代市立千丁中学校での実践～



【八代教育事務所】

【講座のテーマ】

わたしたちの地域のよさや課題は？ ～子どもの意見表明の機会の確保を～



すごろくトーク



あるあるトーク・意見交流



全体共有・まとめ

【講座の日程等】

実施日：令和6年（2024年）7月5日（金）

場 所：八代市立千丁中学校 体育館

日 程：5校時（14：10～15：00）

対 象：第2学年 2学級 72名

保護者、千丁中学校区学校運営協議会委員

進行役：八代教育事務所 社会教育主事 俣嶋 孝宏

【講座の説明】

自分たちが住んでいる地域のよさや課題を出し合う中で、これから地域を盛り上げていくための行動のきっかけとして、「親の学び」講座次世代編を活用。明るい未来を創っていくためには、自分自身が行動していくことが大切。そのための第一歩として、子どもたちに関わる大人が見守る中で、自分たちの地域をよくするためのアイデアを出し合い、これからの未来をともに考えていく場をつくりました。子どもの権利条約12条【意見を表す権利】にあるように、子どもの意見表明の機会の確保の場を保護者・学校運営協議会委員の皆様とともにつくれたことが、地域を盛り上げるための次の行動につながると信じています。

【プログラムの実際】

- 今日のめあてについて
 - 子どもの権利条約について
 - くまもと「親の学び」プログラムについて
 - 「子どもの意見表明の機会」の確保のために
- アイスブレイク
 - しあわせじゃんけん参加者同士の心をほぐす。
- すごろくトーク
 - 生徒が気軽に話ができる話題を入れたすごろくを行う。
- あるあるトーク
 - 「地域のよいところは？」「地域の課題は？」「地域を盛り上げるためには？」この話題についてそれぞれグループで出し合う。
- まとめ
 - グループで出た意見を全体で共有。みんなで地域のよりよい環境を作っていくことの大切さを最後に確認。

【生徒の感想】

○地域のよさを考えるきっかけになりました。今日出た地域の課題は、自分たちが行動し、変えていく必要があると思います。

○「地域を盛り上げるための行動」が実現できると、地域がよりよくなっていくと思いました。

【参加者の感想】

○中学校生徒達の生の声を聴いて、地域のためにどのようなことを考えているのかがよく分かりました。子どもの意見を聴くことで、安心感にもつながりますし、このような機会に参加できて良かったです。（保護者）

○お互いに顔見知りになるきっかけづくりになったと思います。これからも中学校生徒の自主的な行動を応援していきたいです。（学校運営協議会委員）

「親の学び」次世代編実践協力校 実践事例紹介

～芦北町立田浦中学校での実践～



【芦北教育事務所】

【講座のテーマ】

職場体験をとおして～みんなの力を借りながら、自分を見つめてみよう～



【アイスブレイク】



【全体で共有】



【グループで意見交換】



【活動の振り返り】

【講座の日程等】

実施日：令和6年（2024年）10月2日（水）

場 所：芦北町立田浦中学校

日 程：5校時（13：50～14：40）

対 象：第2学年 20名

進行役：芦北教育事務所 社会教育主事 坂口 祥一郎

【講座の説明】

2年生で実施される職場体験学習の事後指導として講座を実施した。職場体験後の自分の職業観や成長できたこと、学ぶことができたこと等について、グループで意見交換を行った。周りの考えを聞きながら、自分を振り返る活動をとおして、自分の成長に気付き、今後の生活につなげることができるよう内容とした。

【プログラムの実際】

- 1 アイスブレイク
 - ・見え方の違い ・ひとりよりもみんなで（見方、考え方の違い、共感すること、みんなで取り組むと解決につながることを体験する内容）
- 2 「親の学び」プログラム講座次世代編について
- 3 活動1 「職業を選ぶとき、何を優先しますか」（職場体験後の職業観を振り返る活動）
- 4 活動2 「職場体験をとおして」（職場体験で、成長したこと、気付いたこと、学んだこと、変化したことについて考える活動）
- 5 活動の振り返り、まとめ

【生徒の感想】（一部抜粋）

○講座をとおして、職場体験で学んだ「相手を理解して対応する力」や「コミュニケーション能力」は自分の中で「プラス」になって成長できていると改めて感じました。職場体験で学んだことを、これからも生活に生かして、自分を成長させていきたいです。また、職業を選ぶ中でヒントとしていきたいです。

○私は講座をとおして、職場体験を終えて自分が変化したことは、周りを見て動くことができるようになったことかなと思います。班の人が学んだことなどを聞いて、確かに大切だなと思うこともあったので、他にも深く考えることで将来につなげることができると感じました。また、働くうえで責任、対応力、コミュニケーションなどが大切だと考えました。

○私は、今日の講座で、改めて職場体験で成長したことを実感することができました。自分では気づかなかった部分も成長しているんだと感じました。私は、今まで集中力があまり続かなかったけど、職場体験をとおして、前よりも成長していることがわかりました。

「親の学び」次世代編実践協力校 実践事例紹介

～山江村立山江中学校での実践～

【球磨教育事務所】



【講座のテーマ】

親の立場に立ってスマホやネット、SNSなどの使い方を考えよう



「親の学び」次世代編のねらいを聞く様子



アイスブレイク（しあわせジャンケン）の様子



自分が親の立場なら何と言うか考えている様子



自分の意見を発表する様子

【講座の日程等】

実施日：令和6年（2024年）7月12日（金）

場 所：山江村立山江中学校 体育館

日 程：5校時（14：00～14：50）

対 象：第1学年 28名、第2学年 40名、保護者

進行役：球磨教育事務所 社会教育主事 尾方 英介

【講座の説明】

身近な道具となっているスマートフォン等の利用方法について、親の立場で考えることを通して、実生活を見つめ直したり親子が納得する利用上のルールを考えたりして、安全で正しい使い方について考える機会とすることをねらいとして講座を実施した。

【プログラムの実際】

- 1 「親の学び」次世代編について
 - ・「親の学び」次世代編のねらいを知る。
- 2 アイスブレイク
 - ・頭の体操（広い視野と柔軟な考えをもつために）
 - ・いろいろジャンケン、しあわせジャンケン
- 3 私の主張と親の主張
 - ・今の自分のスマートフォン等の利用状況チェック。
 - ・事例について考える（ある親子の会話から…）
 - ・自分が親だったら何と言うか役割演技をする。
 - ・親子がお互いに納得する方法を考える。
- 4 まとめ

【生徒の感想】

- ・子供が正しくスマホを使えるようにこの時間を通してじっくり考えることができた。スマホ以外にもルールをしっかり決めてそれを守り、家族との時間も大切にしていきたい。
- ・これからも、ルールを守って安全にスマホを使いたいと思った。また、分からないことがあったら家の人と相談していきたい。
- ・SNSを使うということは、危険なことに巻き込まれる可能性が増えるということを知った。そして、親も子供もどちらも納得できるようなSNSの使い方を家で考えてみようと思った。
- ・親の立場や子供の立場からSNSの利用方法について考えることができた。僕が親だったら、SNSの利用方法について、話し合ってルールを決めていきたいと思った。これからSNSの利用方法については、自分でよく考えたり親と相談したりして正しく利用できるようにしたいと思った。

「親の学び」次世代編実践協力校 実践事例紹介

～天草市立牛深中学校での実践～



【天草教育事務所】

【講座のテーマ】

大人になった時に必要な力は？ ～これからの自分について考えよう～



【生徒の感想から（抜粋）】

- 普段は聞けないような友達の話を聞いて、共感するところがたくさんあって楽しかったです。
- 今回、いろいろな話をしたり聞いたりでき、みんなも頑張っていることが分かりました。私も負けずに頑張りたいです。
- 今回の学習は、自分の将来について考える有意義な時間でした。自分が大切にしたいと思う力を成長させていきたいです。
- ダイヤモンドランキングで、一番大切な力について考えました。私は、コミュニケーション能力と信頼性が大切だとあらためて感じました。
- 私には将来の夢があります。今、夢の実現のためにしていることを、これからも続けたいです。

【講座の日程等】

実施日：令和6年（2024年）7月18日（木）
場 所：天草市立牛深中学校 音楽室
日 程：6校時（14：25～15：15）
対 象：牛深中学校 第3学年 2学級 49名
進行役：天草教育事務所 社会教育主事 緒方 大将

【講座の説明】

中学最後の夏休みを前に、さいころトークで今の自分の思いを語ったり、友達の思いを聞いたりした。その後、ダイヤモンドランキングで、生徒一人一人が「将来働くうえで必要な力」について考え、選んだ理由等を話し合った。そして、自分の夢や将来設計（自立）に向け、中学3年の今、自分は何をすべきか、何をがんばりたいのかを考え、行動目標を設定した。

【プログラムの実際】

（・生徒の反応）

- 1 アイスブレイク
「ありの目 とりの目 さかなの目」 等
- 2 さいころトーク （次世代編）
Q. 自分のいいところは？
・誰とでも仲良くすることができる。
Q. 10年後、どんな生活をしている？
・夢だった仕事に就いている。
・誰かの役に立つような仕事に就いている。
- 3 ダイヤモンドランキング
①自分が将来働くうえで必要だと思う力を3つ選ぶ。
②選んだ力をランキングし、その理由を考える。
③グループで自分の考えを紹介し合う。
④グループで、「一番必要」だと思う力を決める
・コミュニケーション能力が一番。（誰かに相談したり自分の意見を伝えたりできないと仕事はできないと思うから。）
・信頼性が一番。（信頼できる関係がないと、コミュニケーションもとれないと思うから。）
- 4 これからの行動目標を立てよう。
・将来の夢を実現するために、今できる勉強をしっかりと理解していく。
・コミュニケーション能力を高めるために、ボランティアなどに積極的に参加する。
- 5 まとめ
夢や目標に向かった小さな積み重ねが、みなさんの将来にきつとつながるはずです！今できることを、少しずつ、前向きに進めていきましょう。

「親の学び」次世代編実践協力校 実践事例紹介

～山鹿市立米野岳中学校での実践～

【山鹿市教育委員会】



【講座のテーマ】

これどう思う？あなたのモラルは？



アイスブレイクの様子



「Yes or No」の活動の様子



タブレットを使用して
自分の考えを整理する様子



全員の考えを全体で共有する様子

【講座の日程等】

実施日：令和6年（2024年）10月22日（火）
場 所：山鹿市立米野岳中学校 被服室
日 程：4校時（11：30～12：20）
対 象：第1学年 2学級 45名
進行役：県社会教育課 社会教育主事 平川 崇

【講座の説明】

本講座を学級活動の時間に位置付け、日常の身近にある事例をもとに、「Yes or No」の活動を通して自分の行動におけるモラルについて考えるとともに、社会の一員として「皆が『いいね！』と思う社会」を作ろうとする心情を高めるプログラムを実施した。

【プログラムの実際】

- 1 「親の学び」次世代編について
 - ・本日のねらいの確認
- 2 アイスブレイク
- 3 「考えに気付く、考えを深める」プログラム
 - 「これどう思う？あなたのモラルは？」
 - ・「Yes or No」の活動を通して考える
 - ・「皆が『いいね！』と思う社会」について考える
 - ・考えたことや感想を全体に紹介する
- 4 まとめ

【生徒の感想】

- ・自分とは違う友達の考えを知ることができてとても良かったです。自分が思っていることと違う人もたくさんいて、その人たちの考えを聞くと「なるほど」思うことがたくさんあって楽しく勉強できました。
- ・モラルについては、私たちの心や意志で決断することを知り、時に「これはどうだろう」と思うことが大切だと感じました。物事を簡単には決めずに、少しでも周りや平等だと分かる「モラル」を尊重していきたいと思いました。
- ・今日の学習を通して、「みんなが『いいね！』と思う社会」は、礼儀はあっても、しばられすぎない自由がある社会だと考えました。

【先生の感想】

- ・生徒それぞれのモラルに対する考え、場面における考えが分かり、これまでの成長過程の中での違いを感じることができた。今後、自分自身を含めてモラルについて考えを深め、行動基準にしていきたいと思う。
- ・今回はモラルについて授業をしていただき、普段の学校生活につなげて生徒に話をすることができた。将来について考えるきっかけにもなったと思う。

「親の学び」次世代編 実践事例紹介

～和水町立三加和中学校での実践～

【玉名教育事務所】

【講座のテーマ】

「和水町の将来 ～笑顔輝き 魅力あふれる 和水町～」

【講座の日程等】

期 日：令和6年（2024年）11月29日（金）
場 所：和水町立三加和中学校
日 程：3・4校時（10：40～12：30）
対 象：第2学年 27名
進行役：玉名教育事務所 社会教育主事 大丸 廣幸
参観者：和水町議会議員

【プログラムの実際】

- アイスブレイク
餃子じゃんけん
- メインプログラム①「これからも守っていききたい和水町のよさ」
 - ・和水町社会教育課職員から町の現状について話を聞く。
 - ・和水町（三加和、菊水）のよいところを出し合う。
 - ・個人で考えた後、グループで検討し学級全体で共有する。
- アイスブレイク
アドジャントーク（身近なことに関するグループトーク）
- メインプログラム②「笑顔輝き魅力あふれる和水町をつくるのは私たち」
 - ・和水町社会教育課職員から生徒の考えに対する意見を聞く。
 - ・「笑顔輝き魅力あふれる和水町」にするために取り組むことについて話し合う。
 - ・今の自分たちにできること、大人や地域の方にやってほしいこと、役場（行政）の方たちにやってほしいことの3つに分類し発表しながら、学級全体で共有する。
- まとめ
 - ・和水町社会教育課職員からの話を聞く。
 - ・これからは和水町の担い手となっていくことを生徒に知らせ、前向きな気持ちを持たせる。



「和水町議会だより」で
取り上げられました！



「親の学び」次世代編

熊本県教育委員会は、「くまもと家庭教育支援条例第13条」に基づき、中学生のじりつ（自律・自立）を促し、将来における親としての自覚を高めるため、「親の学び」次世代編実践協力校を指定し、くまもと「親の学び」プログラムの効果的な活用について実践を行う。今年度は、菊水中学校が指定された。詳細については、広報なごみ11月号で紹介されている。

生徒の感想として、大人になったときには、主体性や協調性が重要である。今の自分に出来ることを少しずつ積み重ねていきたい。自分と違った意見を聞くことが出来た等、前向きに将来について考えるきっかけになったのではないかと。

また、三加和中学校でも11月29日（金）に2年生27名を対象として、和水町の良さが10年先も続いていくための課題や変えていくべきことについて、アイスブレイクを行い、「笑顔輝き魅力あふれる和水町」にするために、自分たちに出来ること。大人や地域で取り組むこと。行政に



やってほしいこと等について真剣な意見が出た。生徒たちの、和水町に対する郷土愛を強く感じた。少子高齢化で人口減少に歯止めがかからない状況の中で、今後、和水町を担っていく子ども達の意見を行政と共有しながら、和水町に住み続けたいと思えるようなまちづくりを議会としても後押ししなければならないと強く感じた授業であった。

千々岩 繁

「親の学び」プログラム次世代編は、生徒たちにこれから必要となる力や考えて欲しいテーマについて盛り込んだ「じりつ（自律・自立）を育むコミュニケーションプログラム」のことで、次世代編Ⅰ・Ⅱ 計24のプログラムがあります。

本プログラムは、学級活動や総合的な学習の時間等でも活用することができます。また、保護者や地域住民とともに、地域の魅力や課題について考え協議する場での活用も可能です。



「親の学び」次世代編
プログラム（県教委HP）



「親の学び」次世代編
プログラムⅡ（県教委HP）